



臨時職員は166名

町民の所得状況（18年度）

階層	人数	割合
年収100万円以下	1,573	14%
100万円～200万円	3,645	30%
200万円～300万円	2,471	21%
300万円～400万円	1,406	12%
400万円超	2,725	23%

①町民の生活が大変厳しい状況にあるのは確かである。生活保護世帯比率は県平均より少ないが、相談件数は増えている。②景気がよくなってきた

家入町長

①町の生活保護世帯は、毎年100世帯を超え、就学援助世帯は220人、所得の格差率で熊本は全国で4番目である。
②町の臨時職員数は、18年度で166名。賃金は、一般事務で時給700円。過去最高となっている。私の試算では、年収200万円以下の人は約2割で、町民の暮らしは大変な状況である。町長の認識を問いたい。
臨時労働のあり方からしても賃金があまりにも安すぎる。町全体の賃金を引き上げるためにも、せめて時給1000円になるように賃金引上げが必要ではないか。



荒木 俊彦議員

町長／待遇を見直す

貧困ストップ・格差是正・臨時賃金引上げを

町政を問う

一般質問
8議員

スポ森、利用者の立場で改善を

町長／要望聞き検討する

なかで、役場への雇用申込みの人材が減少しているのは確かである。頑張つて働いてもらっている人、今後も優秀な人材を確保するためにも雇用期間の長期化を含め、待遇面などの根本的な見直しを検討する。

家入町長

①正面のスペースは、大きな大会などのとき活用

①スポーツの森の駐車場不足解消のため、西側正面左スペースを駐車場に活用するべきではないか。
②北側の駐車場から体育館入口まで雨ざらしである。使う人の立場から雨よけの改善が必要ではないか。

体育館北側入口
雨の日は不便

しているが、今後はさらに利用をすすめたい。
②北側駐車場は、今回70台分くらい舗装する予定だが、雨の日は、大変不便な目にあっておられるのは確かである。
入口まで屋根を整備すると障害者用スロープを含めて約1200万円ほどかかる。今後、利用者の要望を聞きながら検討する。

国保税は値下げできる

町長／財政は厳しい

来年4月から、75歳以上の方は新たな健康保険料負担、平均で月額6200円以上である。

国保会計の昨年度の黒字は1億4000万円もある。国保税は値下げできる。

家入町長
今年度8月までの保険給付の支出は、前年度比20%近い増額となっている。財政運営は厳しい。後期高齢者医療制度により、どの程度国保財政に影響するか、国の政・省令等が公布されないといけない状況である。

河川の調査と 護岸の対策を問う

町長／護岸対策に根固め



新開 則明議員

文化財関連をどう生かしていくか検討する。今後
も土地改良区受益農家の
皆さんと協議し、防塵対
策を行っていききたい。



起伏式ゲート（塘町の人工堰）

パークゴルフへの 対応を問う

町長／健康づくりに支援の検討



健康づくり、パークゴルフ
（大津会員）

起伏式ゲート（人工の堰）を放流する場合、上流・下流への影響は十分考慮されているのか。石積みや擁壁等の根石・床土の露出や史跡の点検は出来ているのか。水の流れに差し掛かる樹木や竹・草の管理と責任及び支流への水取入れ口の防塵対策はどうなっているのか。

パークゴルフへの住民の関心が高まっているが、パークゴルフ場を開設する考えはないか。子どもから高齢者まで幅広く、体力増進とコミュニケーションの場として有効なスポーツとして、医療費の軽減にもつながるのではないか。既存の公園活用や山林・遊休地を活用したコース作りは考えられないか。

家入町長

利用者の状況や周辺の状況を含めて、慎重に検討していく。健康のためにパークゴルフの推進をやっていきながら、パー

防災無線について問う

町長／難聴地域の解消を

防災無線放送として、

どの範囲まで使用し、誰が決定していくのか。防災行政無線もデジタル化になってきているが、今後、町としてどの様に対応していくのか。難聴地区や難聴者に対する調査は出来ているのか。戸別受信機は自己負担すれば取り付け出来るのか。

家入町長

運用規定に基づいて行い、内容等も3分以内で総務課長が審査し決定している。今後はデジタル化を推進していきたい。難聴地域は平成16年度に調査し、28カ所を把握し、解消を図っている。個別受信機は今後、住民の方の要望があれば、検討していきたい。



防災無線放送

クゴルフの仲間たちの要望関係聞き支援の方法を検討していく。今のところパークゴルフ場をつくることは考えていない

が民間で計画される様な事があれば支援なり出来れば検討していきたい。

家入町長

本年度護岸を保護するため根固めを、下流は川底をコンクリート張を施工する予定であり、また



永田 和彦議員

水道料金について

町長／年次計画をたて、経費節減に努める

内部留保資金と基金に
対する企業団の条例や運
用ルールを明確に示さな
いと、大津菊陽町民が支
払った多額の水道料金残
高に対する保護ができな

いし無駄遣いに通じる。
多額の内部留保資金によ
る高金利借金に対する繰
上償還などの取り組みは
できているか、また企業
団ホームページの会計予
算報告書においては非常
にいい運営をしていると
あるが、企業団経営と運
営経費の見直しを厳しく
し町民負担を軽くする努
力をされているか、また
今の水道料金が妥当な値
段であるという根拠を、
町長（企業長）に聞きた
い。

家入町長

水道は水源地や調整池
配水管など数多くの施設



大津・菊陽水道企業団

を有しており資産評価額
は約91億程度ある。
内部留保資金関係等に
ついては監査委員の方か
ら指摘を受けているので
資金管理のやり方につい
ては今後十分検討をさせ
ていただきたい。
施設整備関連等につい
ても大きな課題が残って
いる状況だが工事関係等
については10ヵ年計画の
中で事業費を上げながら
毎年計画をきちんとやり
推進していく。
昨年の料金審議会での
答申を踏まえて最大限の
経費節減に努め、安全か
つ安定した給水に努力し
ていきたい。

ごみ処理について

町長／資源循環へのご協力を

地球環境を守るために
分別の徹底やリサイクル
をやっている。ところが
最近になって容器包装リ
サイクル法に基づく収集
を完全実施したために、
処理費用が増大して自治
体財政を圧迫する結果と
なったり、リサイクルす
ると逆に資源消費量が増
えるといった事実が判明
してきた。
①各家庭において分別の
ごみ出しルールを守って
いるのに処理料金が安く

家入町長

①出さない持ち込まない
というのが一番ゴミ処理
負担金が少なくて済む方
法だが、分別もまだ不十
分で焼却場を眺めてみる

ならないのは、時代に合
わない処理システムだか
らではないか。
②家電リサイクル料を払
い引き取ってもらった家
電を海外に売る悪質な二
重取りも出ているが、需
要がある海外へ売ればゴ
ミ処理料金の足しになる
事実を直視するべきだ。



菊池環境保全組合

とプラスチック関連等が
混ざったごみなど投げ込
まれており、それを焼却
するのには大変費用がか
かる厳しい状況にある。
子ども会や老人会関係等
にお願いし資源物回収の
瓶とかの金額を上げなが
ら資源循環型社会への協
力をお願いしている。
②家電リサイクル法を守
るのは当然であるが、学
識経験者を含めた法案検
討委員会に意見を求め社
会変化に対応するため5
年後に見直す条文がある
法改正に期待したい。



月尾純一朗議員

高尾野森林公園を

利活用せよ

町長／多くの町民の利活用のため
に整備する

高尾野森林公園は一部整備されているものの、そこに至る道路が狭く、全体的に見ても、ほとんどが手付かずの状態。多くの町民はその存在すら知らない。利用されていない。

①道路等の整備を進め、多くの町民が利用しやすい公園にすべきではないか。

②面積が広大である。針葉樹のゾーン、広葉樹のゾーン、竹林のゾーンなど、ゾーンを分けて整備する考えはないか。

家入町長

平成12年度から森林空間総合整備事業の補助を受けて、27・4ヘクタールの整備をし、平成15年に完成した。目的は、良好な自然環境を保全しながら、適度な活用を進め



多くの町民の利用が待たれる
高尾野森林公園

ていく。即ち多くの町民に利活用していただきたい。進入道路は北の方は新小屋からの入口と西側からの入口の2ヶ所があり。現在、案内板が目立たずPR不足になっている。

公園の存在を知っていたいて、来ていただきたい、歩いて回れるようなものにしていかなくてはいいないと考えている。

この公園は整備事業の中で、森林浴の森、針葉樹の森、椎茸の森、広葉樹の森といった4つのゾーンを設け、今後多くの皆さんに利活用していただけるよう整備する。

地理的には、大津町のなかでも、ちよつと歩いて行ける大変素晴らしいところであり、全ての町民の皆さんが、この森林

下水道事業を急げ！

町長／水環境保全のため取組を急ぐ

下水道整備は、近隣の市町では100%に近いという。自然環境の保全という観点から、大津町は全てに優先して下水道整備事業を進めなければ

ならないと思う。
①大津町の下水道整備の状況はどうか。
②合併処理浄化槽の今後における取り組みを問う。

家入町長

大津町では、昭和56年度から公共下水道事業、

平成7年度から合併浄化槽設置事業、平成13年度から農業集落排水事業に

健康福祉センターを

早期建設せよ

町長／健康福祉センターは
必要な施設

少子高齢化が進み、高齢者をはじめとする医療費増大の問題。メタボリック症候群など成人病の問題。食育など子どもたちの健康に関する問題等々、健康福祉センター

の果たす役割は大きい。
①建設計画が棚上げになっているが、健康福祉センター建設の予定はないのか。
②健康福祉に対する取り組みを問う。



家入町長

取り組んでいる。瀬田・大林・吹田・森地区は多額の費用が必要であり、供用開始は平成30年頃になる見込。公共下水道や農業集落排水事業区域以外の真木・古城・米山・護東地区などは、環境に恵まれた地域である。合併浄化槽設置事業の補助金を増額することにより、早急に設置を進めることは、水環境を保全する上で必要なことである。どの程度増額するかは、下水道事業における負担金とも比較し、受益者負担の観点から今後十分検討する。

健康福祉センターは、これからの少子高齢化の中で、あるいは町民の皆さんの健康を推進していくために、是非必要な施設。大津町振興総合計画また、まちづくり交付金事業関連等の後期の事業で取り入れていきたい。



坂本 典光議員

大津町は順調に発展している。平成19年度も大津町は普通交付税不交付団体になった。
全国に不交付団体は188しかない。
人口は近日中に3万人に達する見込みである。

町長の思いを聞く (大津町発展の件)

町長／更に元気な大津町を創る

①町発展に対する町長の思いを聞きたい。
②恵まれない人にも町発展の恩恵があるように心掛けていただきたい。

家入町長

①昭和31年、大津、陣内、瀬田、平真城、護川、錦野の1町5村が合併して今日の大津町ができた。

新しい大津町になってから、それぞれの先輩たちが汗と知恵を出して今日の繁栄がある。非常に感謝している。

町の財力を示す財政力指数は、昨年度が1・004、本年度は1・101であり、力がついているのは確かである。

自動車産業の本田技研工業㈱や、半導体関連の㈱ルネサス九州、HOYA㈱、テラデザイン㈱、東京エレクトロン九州㈱などの企業が元気をつけている。

しかし、民間の景気が常に良いわけではない。気を引き締めて更に元気な大津町を創っていく。強い農業をつくるため、基盤整備や集団営農の支

援も大事である。

商業関係では、大津駅の南側の地域はそれなりの商業集積がなされ住民の利便性が良くなった。

駅より北側で昔からの市街地は宿場町の面影を持つ地域として発展させたい。

職員はじめ、それぞれのまちづくり支援の人材育成に努めたい。

②保育料の値下げ、私立幼稚園の入園料補助の新設、児童手当等の拡大、障害者就労継続サポート事業の新たな独自の取り組みや乳幼児医療費の枠の拡大などに取り組んできた。

更に肥後銀行本町通り出張所跡に計画している地域包括支援センターが来年1月に開設できるよう準備している。



教育委員会で協議すべき (一般質問の対応)

教育長／可能なかぎり事前協議する

議会とちがい町長は自分一人で意思決定ができる。

一方、教育委員会は5人の委員からなる合議制の組織である。

教育長は自分一人で意思決定できない。

今まで慣例として教育委員会に対する質問は教育長が自らの判断で答弁してきた傾向が強い。

今後は教育長（教育委員会）に対する一般質問は教育委員会で協議し、その結果を教育長が答弁すべきではないか。

宮崎教育長

私もその考え方が正しいと思っている。

現在の状況を説明すると、教育委員会は毎月の定例会と臨時会を開催している。

議会前に教育委員会が開かれた場合は予定している答弁を示し各委員の意見を聞いている。

議会前に委員会を開けなかった場合は教育委員会の方針を参考にして私が議会で答弁している。その後開かれる委員会でも承認してもらっている。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律には「教育長は教育委員会の指揮、監督の下、教育委員会の職務権限に属するすべての事務をつかさどる」とされている。

今後、可能なかぎり議会の前に教育委員会を開き一般質問について教育委員の皆さんの意見を取り入れて答弁したい。

その他の質問

行政視察受け入れの件



学校視察をされる教育委員の皆さん



手嶋 靖隆議員

公民館活動の現状を問う

教育長／活動を充実するため普段の実践活動の支援を強化する

本町における公民館活動と住民参加、自主活動について、どのような考えなのか。年間の社会教育計画を策定し、その拠点となる公民館を活用、実践されているが、その活動について次の点を伺いたい。

①社会教育計画策定にあたり町民参加の審議は。
②教育振興を図るために指導の充実が不可欠であ

るが、地域に居住する有識者の協力をどの程度求めたのか。
③身近にある問題を教材にとりあげるよう配慮は。
④公民館活動の機能を果たすため、設備の充実、職員の適正な配置等の条件整備が重要だが現状の実態は。
⑤活動行事の準備、後始末は参加者自身で行われるか。
⑥年間の講座名と参加者は。

宮崎教育長

①振興総合計画基本計画の、社会教育及び生涯学習部門の計画策定を進める中で、町民の参加の場として生涯学習関係の各委員、団体と、各施設利用者及び参加者の意見を伺いながら審議を行い、計画を策定した。毎年、事業の実施状況や実績などを報告し、次年度に向けて改善や利用者のご意見を聞きながら進めている。

②講座の内容に応じた様々な部門に町内有識者、40人程に指導者として支



活発な公民館活動

援いただいている。

③公民館の考える講座と町民が提案される講座や自主グループの活動支援を行っている。

④利用者などの意見や施設管理状況などを確認し、計画的、又、臨時的に予算をたて整備を進めている。

⑤公民館講座など町が募集を行った講座に関しては職員と参加者が協力して各行事等の準備から後始末まで自主的に行っている。

⑥年間60講座程で参加者900名を超えている。

遊休地の有効活用について

町長／公共施設を踏まえて多目的活用、検討する

若草児童学園跡地については東部地区新興住宅の増加に伴い、人口も増えている。防災上、緊急避難場所として、また、地域住民の健康増進と交流の場として環境を配慮した運動公園の設置を提唱してまいった経緯もあり、一部については区民による除草、整理管理を自主的に行い、グラウンドゴルフ等に利用されている現状を踏まえて、早急に整備を望む。なお、その他の遊休地については処分か、有効活用の見直しされるのか、所見を伺いたい。

家入町長

学園跡地の東北側に法務局移転の計画がある。あと残地の利用については東原地区などの防災上の避難所として、また、地元のグラウンドゴルフ場などとして残すような方法も検討している。

護国小学校跡地については将来どうすべきか地域住民と相談しながら利用を考慮したい。町立幼稚園跡地はまちづくりの



有効活用が待たれる若草児童学園跡地

代替用地。青年開発跡地は児童福祉関連を検討したい。

水源町と森の住宅地は、売却を検討、瀬田幼稚園の跡地は関係者と十分相談し売買か利用か検討する。区画整理内残地は売却の予定。

最終処分場跡地は一部西側については災害時等における廃棄物の置き場として確保したい。

妊婦無料健診の 拡大を

町長／5回程度で検討したい

妊婦健診は、妊娠中の母胎と胎児の健康を確保したり、安全な妊娠・出産を目指して実施するものである。無料健診は前期と後期で1回ずつで2回ある。健診は10回から15回で出産は病気ではないので基本的には健康保険がきかない。初診から出産まで合計すると平均で6万円程度である。他自治体で若い皆様の家計への負担を少しでも手助けしようと10回・9回・5回分を無料にしている。少子化対策として無料健診の拡大に取り組む考えを問う。



出産おめでとう

家入町長

妊婦健康診査は現在2回、高齢者出産の場合は追加1回の公費負担を行っている。今年1月厚生労働省より妊婦健診の公費負担の望ましいあり方について、最低限必要な健診は5回程度の公費負担を実施することが原則であると示された。十分検討し、その辺のところで早めに実施できるようにしたい。



鈴木ムツヨ議員

レジ袋ないない運動と 駐車場に緑化ブロックを

町長／マイバッグ推進の啓発と植樹に力を入れる

レジ袋ないない運動は大垣市の取り組みでレジ袋を断って、スタンプカードに押印して貰いポイント数に応じて植樹祭で公共の場所に市民が植樹する。平成18年までの2年間で約2トンの二酸化炭素排出を削減し、桜など約600本の苗木を植樹した。
大津町での取り組みの可能性を問う。

一定規模の駐車場を緑化ブロック舗装推進への取り組みを問う。
緑化張りブロックは1㎡に50cm四方のブロックを4枚張り付けるもので四角の中には丸い穴が4つ空いていて、そこに芝を植えるもの。浸透性があり、緑もあり表面温度を15度下げているとも言われている。

家入町長

熊本県ではマイバッグキャンペーンが10月1日より1カ月間実施され、それぞれの立場で具体的な取り組みを展開する。本町でも啓発を行う。

菊池環境保全組合は環境フェアを開催しその中で、マイバッグを推進するために、参加者の皆さんにマイバッグをプレゼントしている。

緑化ブロックは町営住宅（2カ所）で採用しているが、芝の管理、除草、水溜まり等などあまり好ましく思われていないのが現状である。今後は、緑化ブロックではなく植樹に力を入れる。

大津町若草児童学園への 指定管理者制度導入について

町長／福祉法人の方がベター

制度の導入の目的は、公共施設の管理運営に民間の能力を活用し、サービス向上と経費の節減を図るというもの。
①40年間のキャリアは、民間の能力に劣るのか。
②サービスの向上とはどんなことか。
③行政の本来の目的、行政サービスと責任は果たせるのか。

家入町長

①職員等については、定期的な異動があり子どもたちのためには、長い目で育てていく必要がある。
②社会復帰、社会適応ができるようにすることがサービス向上である。
③福祉関係等で障害者が



若草児童学園

働けるような地域づくり、企業育成、協力も福祉の一環と考えている。
また、サービスの低下を招かないように、町・県の監査及び指定管理者選定委員会で、毎年度終了後に実績検証を行い、サービスの向上に努める。

風呂の残り水、 雨水の有効利用について

町長／補助が出せるか検討する

地球環境の水資源保全を目指している大津町。

①水のロス、無駄を少なくするために風呂の残り水をトイレ・洗濯に有効利用を推し進めている各家庭を支援する考えはないか。

②各家庭に雨水を溜める枡を設置して、庭の散水、洗車、水洗トイレに利用・支援する考えはないか。



藤森昭二朗議員

家入町長

いかに水を大切にするかということにつきまして、何らかの施策的なものを検討していかなくてはならない。溜め枡関係、ポンプ関係等いろんな形の費用関係を補助が出せるかどうか、前向きに検討していきたい。



チャレンジキャンプ

子ども育てに学校・家庭・地域での3Kについて

教育長／力強く生きる力が大切

現代の恵まれた時世、学力低下・不登校・いじめ・がまん・ニート・フリーター・ネットカフェ難民・若い者の自殺等、いろんな社会問題も多い。人間形成には、きつい・きびしい・きたない等、いろんな体験をすること必要ではなからうか。

壁にあたり、失敗から学び、壁を乗り越える子ども教育を、学校・家庭・地域でそれぞれの知恵を共有しながら、現代の悩めることを解決しなくてはと思うものである。

宮嶋教育長

現代の子ども達を取り巻く社会の現状を危惧している。現代の子ども達には力強く生きる力をつけるのがとても大切である。

地域の拠点である学校は地域住民みんなの学校であり校長先生の学校経営に、家庭・地域社会が参画し大津町の子ども達をみんな育てていきたい。

所得格差について

町長／住民生活の安定向上のために取り組みたい



国の進める改革路線に

よって、正規社員と非正規社員の所得格差が広がっている。大津町でも若い人の賃金が安くて結婚したくても出来ない。職務が同じでも、賃金格差で悩まされている方も多い。町には多くの企業、そして進出して来る企業もあるかと思う。町当局は、企業に正規社員の雇用を進めてもらうように働きかけるべきではないか。

家入町長

町では、平成17年度から企業の立地に対する優遇措置を設け、新規進出企業に対して、一定の条件に合致すれば、施設整備補助金や雇用対策事業として雇用促進補助金を、町内から雇用された場合に、労働者1人当たり年間30万の補助金を交付している。

企業ニーズに応えるためにも人材育成を図って教育に力を入れたい。